

東北風景写真家協会会員向け会報「東風季報」第9号です。当会報は会の行事、活動計画、各種のお知らせ、撮影適所、撮影情報、撮影テクニックなどの記事を掲載しております。

# 東風季報

発行  
東北風景写真家協会  
仙台市宮城野区榴ヶ岡3-8-15  
東北カーデューブ(株)内  
tel: 022-256-2141  
編集 秋葉・進藤

## 第2回写真展「美しい日本」開催に向け準備スタート

会員の皆様も心待ちにされていたのではないかとと思いますが、第2回写真展の日程と場所が決まり、開催に向けて写真展プロジェクトチームによる準備がいよいよスタートしました。今回は会場が「せんだいメディアテーク」に変わり、前回よりも会場が広くなり多くの会員の方に「出展頂くことが出来ます。作品をご覧にお出掛け下さるお客様に喜んで観て頂ける写真展とすべく、チーム一丸となって頑張りますので会員の皆様も積極的にご協力下さいませ様お願いします。

今年1月に開催しました「たが、何とか平成22年2月4日〜2月10日(準備・撤去日を含む)の期間」で仮予約を取った事が出来ましたが、この施設は皆様ご存知の通り有料のギャラリーで使用料は概算で182,000円(施設のみ)掛かり、その他展示の用具類費用が別途必要になります。前回は写真展の案内八ガキ、目録、マスコミ案内資料、事務費、竹内敏信名誉顧問、椎名顧問の作品借用料他で会員皆様の共通費として、5,000円のご負担をお願いしましたが、今回は会場費も必要になり、お一人10,000円の共通費でお願いする予定です。出展作品は基本的に自分で作品選定から額装までご準備をお願いします。出展数はお一人原則2点以内(半切・クリスタルプリント・マットも黒で統一)額は貸出用が有りませぬのでA300XはA1000の黒枠額を自分で用意頂きます。詳しい事は「第2回写真展(美しい日本)開催のお知らせ」をご覧ください。何か分からない事、ご相談したい事等ありましたら、プロジェクトチームの幹事の皆様か竹内顧問、鈴木会長にご相談、ご連絡を下さい。

今年1月に開催しました「たが、何とか平成22年2月4日〜2月10日(準備・撤去日を含む)の期間」で仮予約を取った事が出来ましたが、この施設は皆様ご存知の通り有料のギャラリーで使用料は概算で182,000円(施設のみ)掛かり、その他展示の用具類費用が別途必要になります。前回は写真展の案内八ガキ、目録、マスコミ案内資料、事務費、竹内敏信名誉顧問、椎名顧問の作品借用料他で会員皆様の共通費として、5,000円のご負担をお願いしましたが、今回は会場費も必要になり、お一人10,000円の共通費でお願いする予定です。出展作品は基本的に自分で作品選定から額装までご準備をお願いします。出展数はお一人原則2点以内(半切・クリスタルプリント・マットも黒で統一)額は貸出用が有りませぬのでA300XはA1000の黒枠額を自分で用意頂きます。詳しい事は「第2回写真展(美しい日本)開催のお知らせ」をご覧ください。何か分からない事、ご相談したい事等ありましたら、プロジェクトチームの幹事の皆様か竹内顧問、鈴木会長にご相談、ご連絡を下さい。

## 「秋の撮影の留意点」顧問竹内正

色彩の鮮やかな秋は風な雰囲気となり、暗く景写真撮影に絶好の季節(マイナス補正)写すと沈んだ暗い情景となり非ご活用ください。

秋は植物が最も華やか時期であると同時に、生の物の終焉を思わせる寂しさも感じる頃でもあります。撮影に際しては、被写体は何を感じたか：感じた事をイメージしてシャッターを押す事が重要で、以下イメージを想定した撮影技法を考えてみました。

**1 紅葉の表現**  
赤色は明るく(プラス補正)描写すると華やか

**2 黄葉の描写**  
紅葉と同じですが、暗くすると色が濁って汚く

**3 草紅葉**  
湿原に見られる草紅葉

**4 背景の活用**  
いずれも背景との組み合わせにより情景は大きく変わります。「寺社、茅葺き屋根、都会のビル、雲、山、水面、公園」等々

**5 晩秋**  
晩秋になると、益々哀愁感が漂ってきます。木々に残った枯れ葉、落ち葉等、雰囲気を出すには柔らかな斜光線を生かすことが大切です。

東北風景写真家協会 秋の撮影会  
乗鞍・丑平・梅池高原  
秋色化粧のアルプスを撮る!

皆様にもすっかりお馴染みとなりました当協会協賛、さくら観光株式会社主催、竹内顧問、鈴木会長が同行講師として行われる撮影ツアーの第19回企画が発表されました。今回は長野方面での紅葉の撮影で、10月13日(火)〜15日(木)の泊3日で行われます。バス、乗鞍高原、ウイラ乗鞍に宿泊。翌日は朝の斜光線に映える紅葉撮影を行い、朝食後エコーライン経由で豊平にて雄大な景色を撮影。スカイライナーを撮影。スカイライナー白馬〜梅池ゴンドラリフト〜ロープウェイを利用して梅池自然園に、お天気が良ければロープウェイからの紅葉も最高に良いと思われれます。自然園周辺で紅葉撮影し、梅池ヒュッテに宿泊。翌日梅池ヒュッテからの日の出と早朝撮影を行い、朝食後ロープウェイ・ゴンドラリフトを利用して下

今年春に実施予定であった第1回撮影実習セミナー開催が決定いたしました。日時は11月11日(水)午前9時30分〜午後5時まで、撮影は35ミリフィルムカメラにて勾当公園及び定禅寺通りと西公園で実施。講習会場は戦災復興記念館4階研修室を利用。費用はお一人2,000円(現像込み)です。お申し込みは「先着申し込み順」となります。参加人数は20名限定です。お申し込みはセミナー担当 丸山幹事長へ携帯090(5594)1439

山形県鶴岡市 南正一「一人で旅する」庄内藩武士紀行」場所 庄内余目第四公民館山形県東田川郡庄内町南野字十八軒21-1 電話0234442162 期間 8月8日(土)〜9月8日(火)まで 時間 午前8:30〜午後5時 「自分を見つめるための旅だったかも知れませんが」というコメントがついています。先般、鈴木会長がこの写真展を拝見に行つて感動して帰ってきました。お知らせが大変遅くなりましたが、会員の皆様も機会がございましたら、是非お出掛けください。

第一回撮影実習セミナー  
開催案内



谷川岳一の倉沢  
平泉・中尊寺  
宮城・七北田公園  
月山・弥陀ヶ原

## お知らせ

写真コンテスト上位入賞者  
旅写真撮影ガイドシリーズ「夏から初秋の撮影地厳選200景」に掲載  
秋葉 健一「八幡平」・奥入瀬渓流「石ヶ戸」  
渡邊 善夫「鈴沼」・月山「弥陀ヶ原」・月山・仏生池「小屋」・中瀬沼展望台「尾瀬・大江湿原」  
風景写真 9・10月号  
印刷部門優秀作品賞 幸野 収三「自然の彫刻」  
新規入会会員紹介  
平成21年6月以降に入会された会員さんです  
山形県山形市 山内 計一  
宮城県石巻市 横須賀 淳  
以上2名の方が入会され8月現在96名です。  
当会会員の写真展紹介  
山形県鶴岡市 南正一「一人で旅する」庄内藩武士紀行」場所 庄内余目第四公民館山形県東田川郡庄内町南野字十八軒21-1 電話0234442162 期間 8月8日(土)〜9月8日(火)まで 時間 午前8:30〜午後5時 「自分を見つめるための旅だったかも知れませんが」というコメントがついています。先般、鈴木会長がこの写真展を拝見に行つて感動して帰ってきました。お知らせが大変遅くなりましたが、会員の皆様も機会がございましたら、是非お出掛けください。

撮影スポット

松川渓谷から八幡平へ

八幡平の山頂付近は濃緑のアオモリトドマツに覆われ、山腹にはブナ林の景観が広がっている。

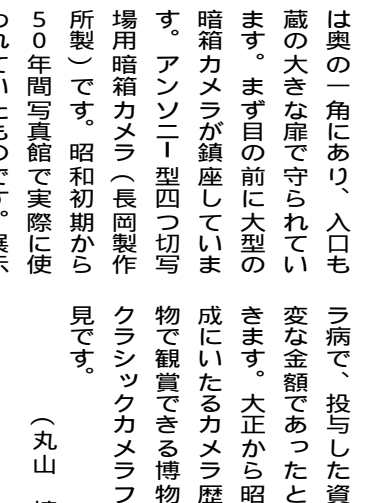


東北自動車道を松尾八幡平ICでおり西方八幡平へ向かう。T字路を右(北)へ折れるとアスピーテラインに続き、左に折れると八幡平温泉郷、松川温泉に至る。この道

路に沿って流れているのが松川で、玄武岩の柱状節理の渓谷にブナ、カエデなどの落葉樹が彩りを添える。森の大橋の上から深谷を入れて全貌を撮るのもよし、遊歩道から川原に降りて、清流と岸壁と紅葉のりなす風景を捉えるのも興味深い。

複数のフィルムホルダーを用意しておけば撮影条件に合うフィルムの使い分けが可能になる。(ペンタックス645は交換不能。)

オモリトドマツに映えて美しい。朽ちかけてなお凛として立つアオモリトドマツもまたポイントとなる。藤七温泉に至ると、湧き出る蒸気と紅葉が不思議な情景をかもし出す。近くに蓬萊境・蓬萊沼トレッキングコース(4km)があり、蓬萊沼は周りの樹木と調和して幻想的な風情を示している。ここから戻り峠を降り、雄大な山容が飛び込んでくる。手前の落葉樹の黄葉や点在する楓の赤が、背景の



をまとめると15kgくらいにはなる。カメラの機構上から35ミリ判と同じ被写界深度を得ようとした場合、2段分余計に絞り込む必要がない。このためミラーアップ機構がついている場合は活用するとよい。

写真美術館めぐり

嘉永蔵・末廣クラシックカメラ博物館

会津若松市内にある末廣酒造・嘉永蔵(かえいくら)は、通りに面した蔵の白壁と、木造の大きな建物がレトロな感じ。建物のあいだに「嘉永蔵」の入口がある。一歩中に入ると酒蔵のたたずまいのまま、なつかしい雰囲気漂っています。

クラシックカメラ博物館は奥の一角にあり、入口も蔵の大きな扉で守られています。まず目の前に大型の暗箱カメラが鎮座しています。アンソニー型四つ切写場用暗箱カメラ(長岡製作所製)です。昭和初期から50年間写真館で実際に使われていたものです。展示

クラシックカメラ博物館案内

福島県会津若松市日新町十一ノ三十八 TEL・0242・2710002 入場料・大人300円、高校生以下100円 営業時間 9時~17時、年中無休 蔵内には売店、試飲コーナー「蔵喫茶」など併設されている。

写真・・・こんな話 あんな話

日本のカメラ技術はおもしろい

前のクラシックカメラ博物館の記事にもあるように、カメラの発展は写真の歴史そのものです。最初は外国(特にドイツなど)の物真似だったかも知れませんが、近年それ以前のカメラにも興味を持ち、ことあるごとに集め始めて、その奥深さに感動しています。すべてを述べたらとても字数が足りないのですが、一つだけ採り上げます。

編集後記

前回のクイズには手ごたえがありました。さて回答に書くとなると、あまいな記憶の整理が必要と感じました。「火を熾す」なんて、漢和辞典を出し、ようやく「おこす」と読むらしいと分る。写真で「火を熾す」って何?フラッシュ、それともストロボかなと連想してみる。さらに、328も心当たりがない。口にだしてみると、ベテラン氏、「重くてなあー」という。なあーんだ、300ミリ、F2.8の高級レンズ。私には果たせない世界でした。錆付いた頭を振り動かしてくれたいと時でした。

中判カメラの良いところ

画面サイズが大きく、描写力が高い

645判で35ミリフィルムは2.7倍の画面サイズは引き伸ばしの際に、細かな粒状性を保つことができる。また、階調性、解像度、シャープネスなどで優れていて描写力が高いといわれている。じっくり構えて撮ることができる風景写真に特に向いていると思う。

フィルム交換が可能

マミヤ645の場合は撮影の途中でフィルムホルダーの交換が可能である。複数のフィルムホルダーを用意しておけば撮影条件に合うフィルムの使い分けが可能になる。

中判カメラの注意点

装着が重くて大変

中判カメラの弱点・難点は少なからずあると思はかなり楽に見ることができない。複数のフィルムホルダーを用意しておけば撮影条件に合うフィルムの使い分けが可能になる。

中判カメラ

特徴を生かして使いこなそう

佐々木 康照

まずは大きくて重いこと。カメラが重いということは、これを支える三脚も大きく重いものになる。私が普段使っている装備でもカメラ本体・交換レンズ・三脚その他

ブレ対策が肝要

カメラの機構上から35ミリ判と同じ被写界深度を得ようとした場合、2段分余計に絞り込む必要がない。このためミラーアップ機構がついている場合は活用するとよい。

特長を生かして

結果を出そう

いずれにせよ中判カメラの特長を生かして使いこなせるようになれば、新しい発見を得て写真への興味も一段と高まると思う。悪戦苦闘しつつも、味わってしまった中判カメラの魅力は捨てがたいものがある。

交換が結構面倒である。朝夕の刻々と変わる情景撮影では、あせってしまい失敗することも多い。そのため、機敏に動き回ることが難しい。

「もう一味濃い写真を」と願うのは写真を撮るものの共通の思いであろう。そのための選択肢の一つとして中判カメラを試してみることがお勧めしたい。

は昭和40年代のカメラからしか知りませんが、近年それ以前のカメラにも興味を持ち、ことあるごとに集め始めて、その奥深さに感動しています。すべてを述べたらとても字数が足りないのですが、一つだけ採り上げます。

丸山幹事長さん有難うございました。